

第39回 全日本少年軟式野球大会 札幌支部大会 実施要項

北海道軟式野球連盟札幌
札幌軟式野球

- 1 主催 北海道軟式野球連盟札幌支部 (札幌軟式野球連盟)
- 2 後援 札幌市、札幌市教育委員会、(一財)札幌市スポーツ協会、北海道新聞社
- 3 会期 2022年5月7日(土)～6月12日(日) (土・日曜日開催)
- 4 会場 美香保公園野球場 A・B・C (札幌市東区北21条東4・5丁目)他
- 5 チーム編成 (1) 札幌市内の中学生で編成されたチームとし、女子の参加も認める。
(2) 札幌軟式野球連盟に所定の支部登録用紙を提出したチームであること。
(3) チームは、スポーツ傷害保険等の傷害保険に必ず加入すること。
(4) 硬式ボールを使用している団体に登録、または、大会に参加しているチーム・監督・選手は、当連盟が主催する大会には参加できません。
(5) 中体連大会の日程と重なった場合は、中体連大会を優先し、本大会を棄権することとする。
(6) 原則1・2・3回戦について、帯同審判1名を出せるチームとする。
(7) チーム編成は以下のとおりとする。(ベンチに入れる者)
 - ・チーム代表者 1名 (20歳以上の成人者)
 - ・監督 1名 (背番号30番)
 - ・コーチ 2名以内 (背番号28・29番)
 - ・選手 20名以内 (主将10番、選手0～99番までの背番号)
 - ・マネージャー 1名
- 6 適用規則 2022年公認野球規則、全日本軟式野球連盟競技者必携及び大会特別規則による。
- 7 大会規律 不正出場、その他規則違反に対しては、札幌軟式野球連盟規約により処罰する。
- 8 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球M号を使用する。
- 9 参加申込みと参加料 参加するチームは、所定のチーム登録用紙に必要事項を記載し、2022年4月21日(木)までにメール登録・振込入金で申込ができます。
申込場所 札幌市中央区中島公園1番5号 札幌市中島体育センター2階
札幌軟式野球連盟事務局 TEL 533-6133 FAX 533-6134
又はメールにて登録 宛先 s-yakyuu@grape.plala.or.jp
参加料 18,000円 (加盟料 5,000円込み、参加申し込み時に申し受けます)
銀行振込での申込を受け付けます。
振込先 北海道銀行 本店営業部 普通 0522091 札幌軟式野球連盟
- 10 監督会議 日時 2022年4月23日(土)9時30分～ 美香保体育館 審判講習会と同時に実施する。
- 11 開会式 実施しない
- 12 組合せ抽選 2022年4月26日(火) 15時00分から札幌軟式野球連盟事務局で代理抽選を行う。
- 13 表彰 優勝、準優勝、3位チームに賞状・楯を授与する。
- 14 北海道大会への出場 優勝チームは、北海道大会に出場する。
北海道大会は、2022年7月16日(土)～7月19日(火) 会場は千歳支部
全国大会は、2022年8月16日(火)～8月19日(金) 会場は神奈川県横浜市
- 15 大会特別規則 (1) 本大会は7回戦とし、雨天・日没等による正式試合は、4回終了以降とする。
(2) 得点差によるコールドゲームを採用し、4回終了以降7点差とする。
5回終了時以降、試合開始後2時間30分を経過した場合は、新しいイニングには入らない。
(3) 7回を終了し同点の場合は、引き続きタイブレーク方式(無死一、二塁、継続打順)を行う。(最大9回まで)
9回を終了して勝敗がつかない時は、抽選(出場している9人)で勝敗を決定する。
ただし、決勝戦は、投手の投球制限を遵守のうえ、勝敗が決するまでタイブレーク方式を続行する。
(4) 投手の投球制限については、1日100球以内とする。ただし、100球に達した場合はその打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。バークにもかわらず投球したものは、投球数に数える。
タイブレークになった場合、1日の規定投球数以内で投球できる。
- 16 帯同審判 けん制球や送球とみなされるものは投球数としない。投球数の管理はチーム同士で行うこともある。
(1) 帯同審判については、4月23日(土)に行われる審判技術講習会を受講しなければならない。
(2) 第1試合の両チームは、第3試合の審判を1人ずつ、第3試合の両チームは第1試合の審判を1人ずつ担当する。
第2試合の両チームは、第4試合の審判を1人ずつ、第4試合の両チームは第2試合の審判を1人ずつ担当する。
(3) 試合開始予定時刻の30分前までに集合すること。
(4) 服装は、原則としてそれぞれの所属の審判服とする。審判服がない場合、上衣は黒・紺系、下衣はグレー系が望ましい。また、帽子を必ず着帽すること。
(5) 本大会において2回戦、3回戦が同日に行われる時は、いずれも帯同審判を実施する。
(6) 本大会においてすべての試合が3回戦以上の場合は帯同審判を実施しない。
- 17 その他 (1) ベンチ入りする監督、コーチ、選手は必ず背番号つきユニフォームを着用すること。チーム代表者等は私服でもよいが、スカート姿でベンチに入ってはならない。
(2) 出場するチームの捕手は、危険防止のため必ず(公財)全日本軟式野球連盟公認のマスク、レガース、プロテクター、ヘルメット、およびファウルキャップを着用すること。また、打者・走者・ベースコーチは、両イヤーフラップのついたヘルメットを着用すること。
(3) 抗議のできる者は、監督と当該プレーヤーとし、監督に限り「一般」と同様グラウンドに出て指示することができる。
(4) その日の第1試合に出場するチームは、試合開始時刻30分前までに打順表(3部)を大会本部へ持参すること。
第2試合以降のチームは、前の試合の4回終了時までに打順表(3部)を大会本部へ持参すること。
(5) 参加選手は、健康保険証等これに準じるものを持参し試合に臨むこと。
(6) 申し込みいただいた個人情報は、連盟の活動以外には使用いたしません。